

## 第 33 回 バスティン教材研究会

日程	2014 年 5 月 14 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00 (エルム楽器千歳)
出席者	楠、石井、伊藤(美)、伊藤(亜)、西野、石山、山本、大塚、大畑計 10 名
ステップ反省	<p>全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れがわからず、バタバタしてしまった (意見多数)             <ul style="list-style-type: none"> <li>→生徒に対して、どこにいたらよいか説明できればよかった。</li> <li>→会場には曲と曲の間にお入りくださいなど貼り紙をする。</li> <li>→終わってからの誘導をしっかりするべき</li> <li>→出番になっても生徒がいなかった</li> </ul> </li> <li>・控室には 1 人ずつと常駐していたほうが良い</li> <li>・パスポートなどを準備しておいたので良かった (名前をカタカナで記入しておくなど)</li> <li>・部によって満席で座れなかった</li> <li>・受け付けは 3 人必要</li> <li>・写真撮影のタイミングなど、司会だけでなく受付にも伝えること</li> <li>・出演者席が足りなくなった。全員いるか着席時に確認したらよい</li> <li>・足台がステージ横に多数あり気になるので置き場所を工夫したらよい</li> <li>・コメントカードは生徒に返却する</li> <li>・講師の方の貴重品のお預かりをしっかりする</li> <li>・記録写真がなかったので次回は撮ること</li> <li>・取材は「ちゃんと」がきてくれた(千歳民報、朝日新聞には次回きてもらえるように・・・)</li> <li>・全体的にスタッフが笑顔で対応出来ていて良かった</li> <li>・ドアの前に、出入りのタイミングなどだれか立っていたほうが良い</li> <li>・説明が長くなるので、受付で説明文を渡しても良いのでは？             <ul style="list-style-type: none"> <li>→もしくは、集まったところで口頭で説明する</li> </ul> </li> <li>・アンケートのタイミングは、あらかじめオリエンテーション時に説明しておくとうい</li> </ul> <p>コミュニケーションカードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員にあたるよう、みんなで記入したのは良かった</li> <li>・今後もステップ以外でも導入すると良い</li> <li>・できれば当日演奏を聴いてからの記入がベスト</li> <li>・記入用のバインダーやテーブル席があると良い</li> </ul>
アナリーゼ 弾き方ポイント	<p>にじいろのうみ(A1 級)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→雰囲気を出すために、イメージの画像や動画を見せる</li> <li>タッチの重さを計るためにキッチンスケールを使う</li> <li>出だしはペダルを深く踏まずに、フィンガーペダルを使う</li> <li>3 小節目で弱音ペダルを踏む</li> </ul>

	<p>左手で拍感を出し、それからメロディーをのせる  メロディーは、前の小節の最後の音をよく聴いてから次の同音を弾く  (指変えはしない)  やわらかく、この曲にふさわしい音で歌える演奏を目指す</p>
	<p>おはようヤマガラ(B級)  →最初のリズムパターンを習得すれば、そのあとも同じパターン  休符をよく感じる  テーマ B でウナコルダを踏むか、mpではなくpでも良い  14～16小節の左手は滑らないように注意  ♪♪♪♪♪♪  12345678 → 弾き方の順番を変えて練習  23456781→34567812→45678123・・・</p>
次回の日程	<p>6月11日(水)10  時からエルム楽器にて</p>